

Ⅰ. 病院名・施設名

- ①NPO 法人 サポートロコペリ
- ②NPO 法人 こども発達支援センターにじいろ・みんなのおうち
- ③あうりんこ 紫原
- ④あうりんこ 谷山
- ⑤あうりんこ 吉野
- ⑥アルテンハイム鹿児島
- ⑦出水郡医師会立 第二病院
- ⑧いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
- ⑨いづろ今村病院
- ⑩指宿浩然会病院
- ⑪今給黎総合病院
- ⑫医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院
- ⑬医療法人七徳会 ザ王病院
- ⑭内山病院
- ⑮沖永良部徳洲会病院
- ⑯小原病院
- ⑰鹿児島医療技術専門学校
- ⑱鹿児島県こども総合療育センター
- ⑲鹿児島大学病院
- ⑳加治木温泉病院
- ㉑鹿屋医療センター
- ㉒菊野病院
- ㉓キッズケアホームにこぴあ

- ②4 肝付郡医師会立病院
- ②5 クオラリハビリテーション病院
- ②6 国分脳神経外科病院
- ②7 こどもクリニック永松
- ②8 サザン・リージョン病院
- ②9 社会医療法人天陽会 中央病院
- ③0 青雲会病院
- ③1 高田病院
- ③2 垂水市立医療センター 垂水中央病院
- ③3 天上会はなのこ園
- ③4 南薩ケアほすびたる
- ③5 南風病院
- ③6 博悠会温泉病院
- ③7 馬場病院
- ③8 原田学園ことばの支援センター
- ③9 恒心会おぐら病院
- ④0 ひまわり病院
- ④1 まえはらリハビリクリニック
- ④2 三船病院
- ④3 湯田内科病院・アンダンテ伊集院
- ④4 リハケアガーデンネクスト
- ④5 若松記念病院
- ④6 やまびこ医療福祉センター
- ④7 南九州病院
- ④8 そらまめキッズ

④医療法人明昌会 フクダ医院

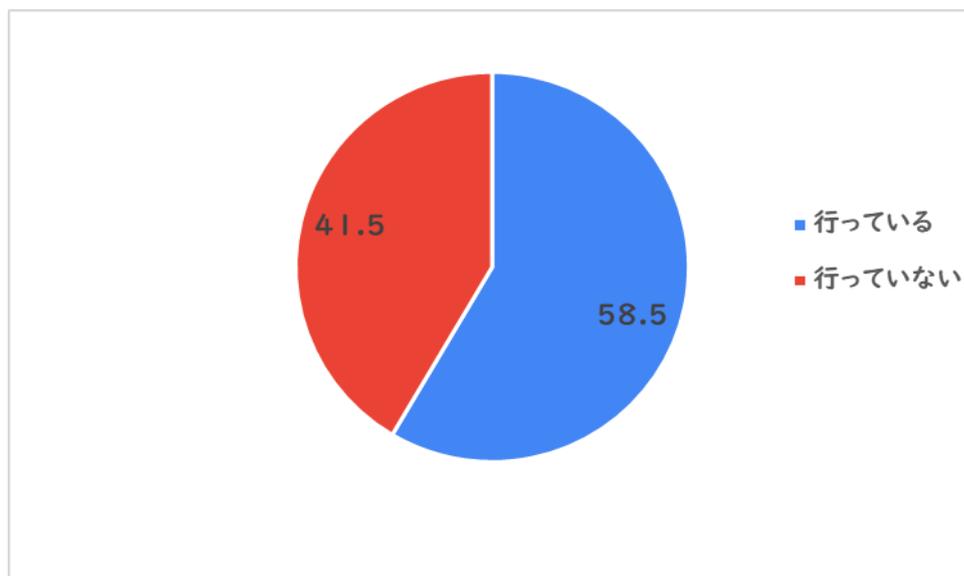
⑤ゆのもと記念病院

51 鹿児島第一医療リハビリ専門学校

52 パソ松ヶ尾館

53 社会福祉法人 慶生会 パソ中山複合福祉施設

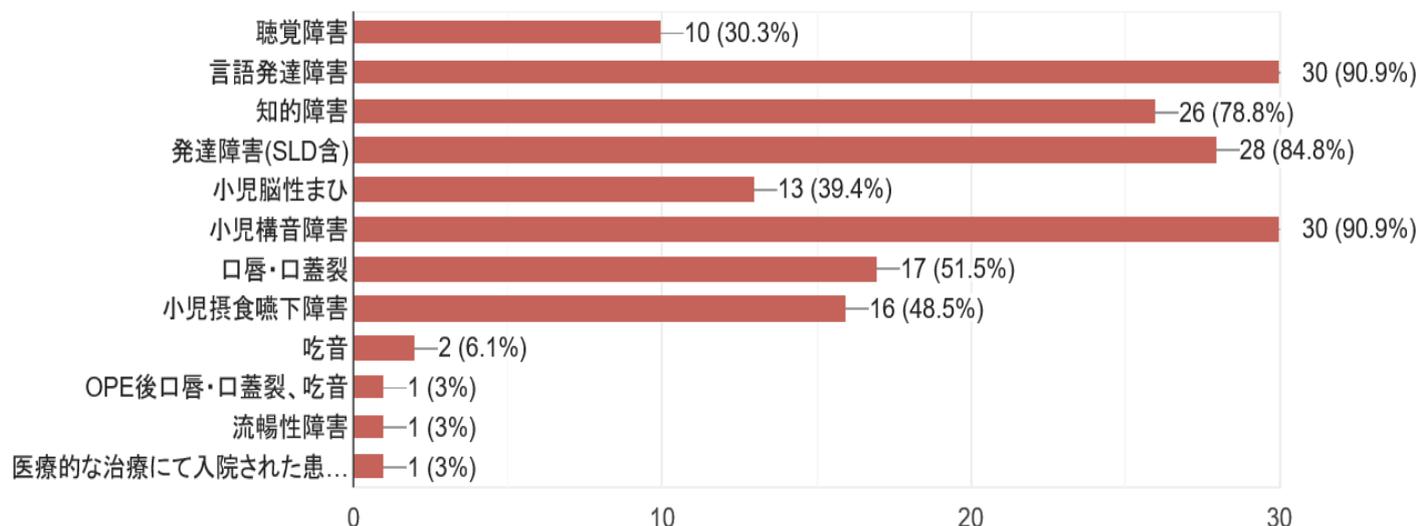
2. 現在、小児言語聴覚療法を行っていますか？



3. 【行っている】にチェック

対象としている領域を教えてください。(複数可)

33 件の回答



4. 1 か月に受け入れ可能な人数や受け入れ状況

・10 名程度

・新規受け入れは時間帯により5人ほどは可能

・新規受け入れは実施していない、定員に達しており受け入れをしていない

・5人～10 人 随時受け入れ可能

・月2～3 人程度

・現在、半月待ち

・当院に小児科医師が居ない為に小児に関する疾患名はつけることができず、他院でリハビリの対象となる疾患名をつけ、診療情報提供書を引き継ぐことで当院でのリハビリ実施しています。

また、心理士の配置や発達検査(田中ビネーや s-s 法)等がない為に言語発達遅滞は受け入れ困難ですが、機能性構音障害で受け入れても言語発達遅滞も合併している症例もあります。

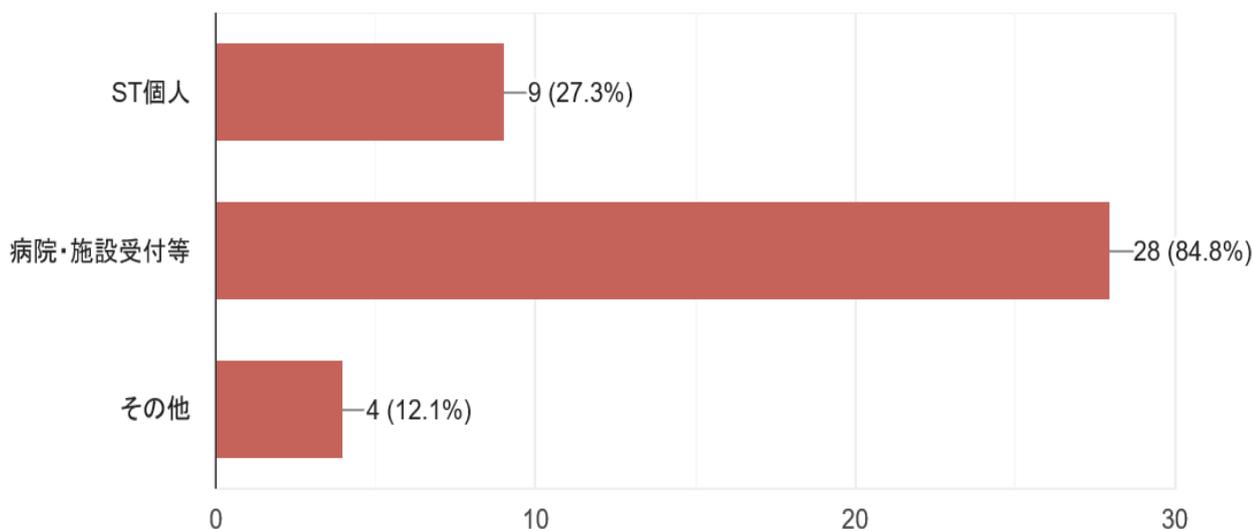
そのような症例に対しては、当院では言語発達遅滞に対してのリハビリテーションは提供できないことを説明し機能性構音障害に対してアプローチ行うことをご家族に説明し同意頂いています

- ・要相談
- ・しらゆき子ども園に相談
- ・時期によりますが、月に10名前後の初回相談をお受けしています
- ・1日定員が決まっています、待機や他の事業所利用等を相談員と調整しています
- ・新規受け入れに制限等はありませんが、初診までに数か月の待ち期間があり、リハを希望されても、医師の指示が出ない場合もあります
- ・1人 一人職場でマンパワー不足により基本的に外来患者の受け入れ無し
- ・現在新規受け入れは、行っておりません。(臨時で受け入れる場合もあります)

5. お問い合わせ先

お問い合わせ先を教えてください。(複数可)

33件の回答



6.【その他】にチェックの場合 お問い合わせ先

【その他】にチェックの場合、お問い合わせ先をご記入ください。

4件の回答

受け入れに関しては、しらゆきこども園 子育て支援センター宛がスムーズです。

リハビリ室受付

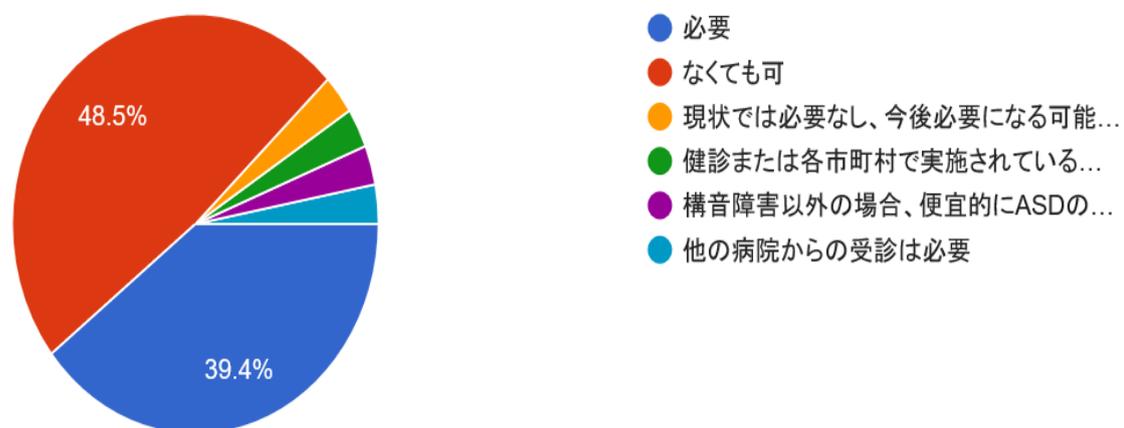
STは、口唇口蓋裂外来を除く通常の小児外来を実施していません

病院・リハビリテーションセンター

7. 紹介状の必要性

紹介状(ご紹介を受ける場合)の必要性を教えてください。

33件の回答



8. 紹介状についての補足

【その他】にチェックの場合や、必要・なくても可のチェックで補足等がありましたら教えてください。

8件の回答

どこにも通院歴がない場合は必要なし

いちき串木野市在住者限定

事前に電話連絡が必要

繋がりとして、あれば助かる。

原則、保護者からの申し込みは受け付けていません。医療機関のほか、お子様が所属している機関からのご紹介が必要です。

紹介状があればスムーズです。

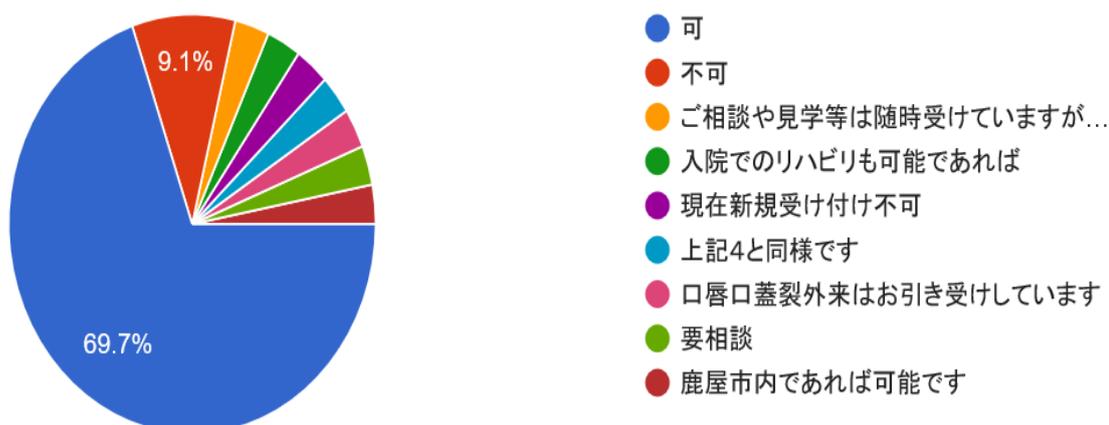
言語聴覚療法を受けている場合には、これまでの経緯やアセスメント結果があるとありがたいです。

可能であれば情報提供書をいただくとありがたいです。

9. 県士会事務局に紹介があった場合について

県士会事務局に紹介があった場合、貴施設への紹介が可能でしょうか？

33件の回答



10. 紹介についての補足

その他にチェックや補足等がありましたらご記入ください。

3件の回答

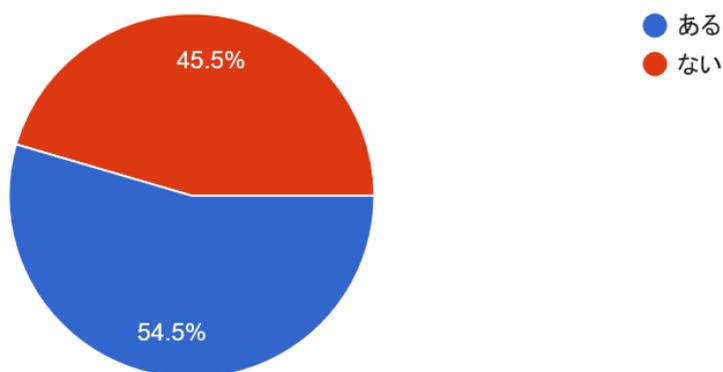
いちき串木野市在住者限定

定員のことがあり、時期によります。

紹介可能だが、現在初診は2～3カ月待ち

11. 他病院や児童発達支援事業所・放課後等デイサービス、子ども園等から【支援・コンサル依頼】を受けたことの有無を教えてください

33件の回答



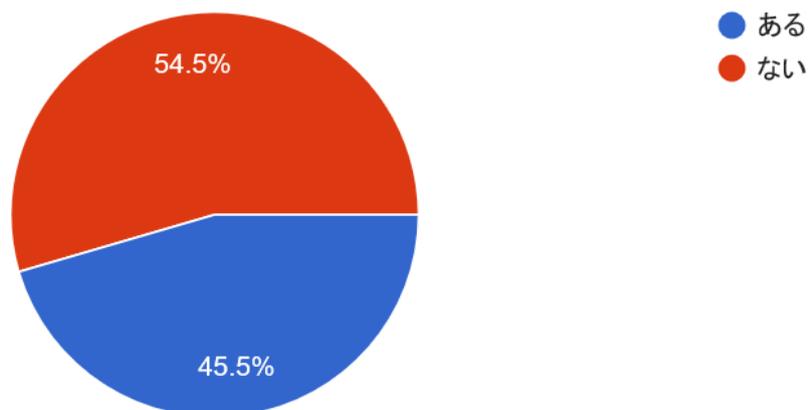
12. 受けたことがある場合 どのような内容であったか教えてください

- ・評価、診断、個別訓練、カウンセリング
- ・吃音児の定期的言語療法依頼、構音訓練依頼
- ・口唇口蓋裂に関する精査
- ・構音障害、ことばの遅れが気になる児童と保育園の先生、家族への見立てと助言等
- ・評価

- ・放課後等デイサービス
- ・放課後等デイサービスから発達検査依頼あり、当院発達外来へのコンサルタントあり
- ・構音、吃音、OPE 後口蓋裂等
- ・個別支援や療育現場での言語聴覚療法的視点での助言
- ・小児部門立ち上げについて準備や支援内容のついてお伝えしました
- ・保育所等訪問支援、ST のいない離島の事業所の相談支援
- ・これから開所する予定なので見学および、質問させてくださいという内容が一番多い

13. 他病院や児童発達支援事業所・放課後等デイサービス、子ども園等から【講演依頼】を受けたことの有無を教えてください

33 件の回答



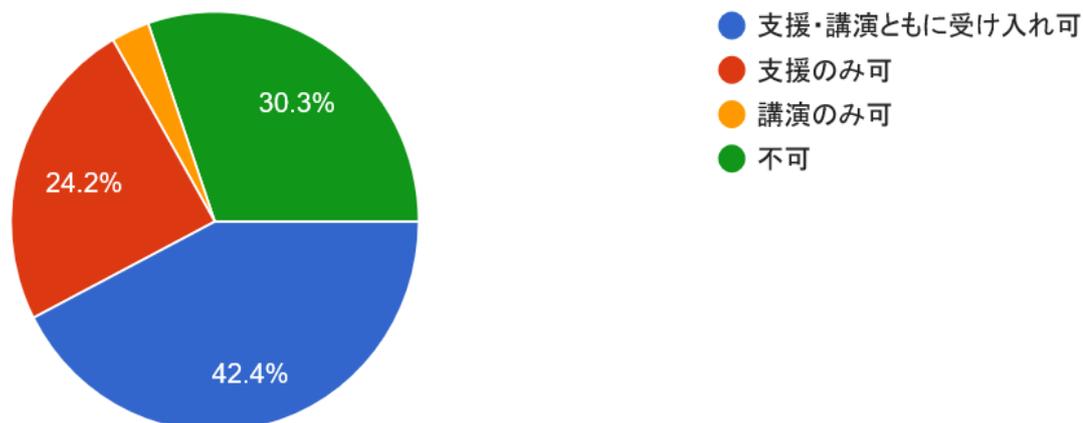
14. どのような内容であったか教えてください

- ・ことばの発達について、当院の小児リハの紹介など
- ・ことばの発達、気になる子への対応など
- ・ことばの発達についての講演依頼
- ・小学校から教員向けの講演や保健センターから離乳食や口腔内発達についての講演
- ・病院でのリハビリについて
- ・言語発達について

- ・言語発達についての概要や支援内容についてお伝えしました
- ・STのいない離島の事業所より、言語発達全般な内容について依頼がありました
- ・保育園の職員に向けて講演会、ケース会議への出席など
- ・児童発達支援事業所の職員・保護者に対し「ことばの発達」についての講演
- ・教育センターでの通級指導教室新規担当教諭に対し「アセスメントに基づく指導、支援」についての講演
- ・特別支援学校が主催する夏季セミナーで地域の学校教諭に「ことばの発達」の講演
- ・保育士のキャリアアップ研修 障害児教育について

15. 他病院や児童発達支援事業所・放課後等デイサービス、子ども園等から県士会事務局に【支援・講演依頼】があった場合、受けることは可能でしょうか？

33件の回答



16. 補足等がありましたら、ご記入ください

11件の回答

地域のSTグループのメンバーで、検討したいです。

必ず受け入れが可能ではない

事務かたに要相談しないと分からないが現時点ではコロナの関係上難しいです。

状況により受け入れが難しい場合がある

内容による

所属の地域支援の事業の中で行っているため、依頼があっても所属の判断でお断りする場合もある

内容や、時期によります。

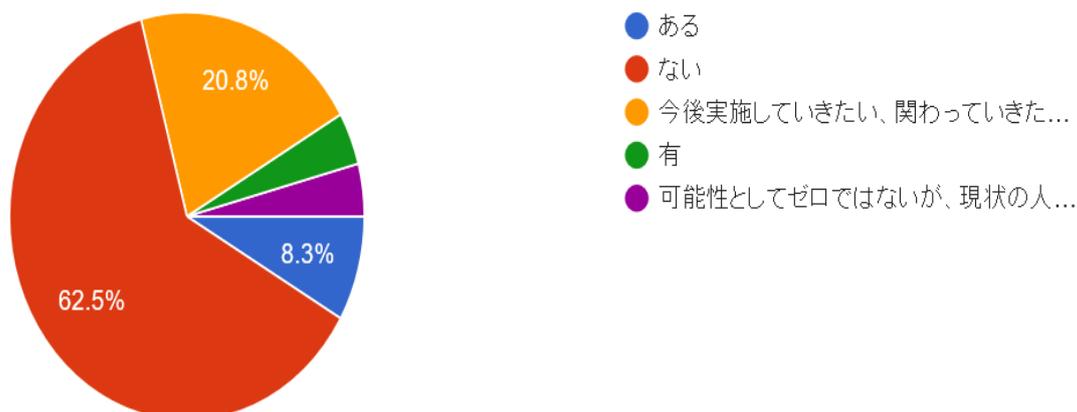
上のものに相談必要です

地域の発達相談会等の相談があり、人員が不足しているような場合にはお声かけください

17. 【行っていない】にチェック

今後、小児言語聴覚療法の開始の可能性はありますか？

24件の回答



18. その他や他項目へのチェックで補足等がありましたらご記入ください

その他や他項目へのチェックで補足等がありましたらご記入ください。

3 件の回答

限定的ではありますが、口蓋裂の方への言語訓練・フォローのみ実施しています。

法人の意向として、実施の実現は難しい。

フォロー体制作り

19. 経験者が指導に行く事は困難かと思いますが、良い方法はないでしょうか。県士会では発達 ST ネットワーク(LINE グループ)でのコミュニティで情報提供等を行っています。また、発達部会も立ち上がりました。どの様な事でも構いませんので、是非ご意見をお聞かせください(26件の回答)

・県士会を通すことで、お願いする側もお願いされる側も病院側や施設側へ話も勧めやすいと思いますので良いと思います

・症例検討会が小児分野で活発に行えれば良いなと思いました。

・発達部会の部員が各地域にいると思うので、その方々を中心に各地域のフォローアップをしていただけるとありがたいと思います。

・県士会ホームページにも発達 ST ネットワークの紹介や Q&A のような情報を載せれば、LINE に入っていない場合でも知ることができるのではないかと思います

・必要だと思います。勉強会および相談。オンライン等で。

・発達 ST ネットワークを知らませんでした。(参加方法を聞きたいです…)発達部会への参加を検討しています。離島医療のため、情報共有がなかなかできていません。県士会活動への参加も時間とお金を必要とするので…

・当院には、小児科医がおらず、小児のお子さんをトータル的にフォローする事が、困難です。また、スタッフも、小児の経験が殆どありません。しかし、市内のお子さんが遠方の施設へ通わなければならない現状を心苦しく思っております。小児専門医の、いらっしゃる病院での定期検診、評価を実施して頂き、日々のリハビリを代行させて頂く様なシステムが確立されていければ、微力ながら支援のお手伝い出来るのではないかと考えております。

発達支援についての、知識が殆ど無い状態での返信、失礼しました。

- ・ラインは有難いです。
- ・ICT 化、可能な範囲でのクラウド
- ・子ども ST の会などを利用し、メーリングリストでベテランの先生方々から助言を頂いてみることや、zoom などの勉強会に参加し様々な症例を把握する。
- ・現状体制で十分かと思います
- ・勉強会。施設の取り組みなどを発信する相談会。
- ・地域ごとや県にて症例検討の場が多くあれば直接伺える機会となり、視野も広がるか
と思います。
- ・現在の Line グループだと個人情報保護の観点から、皆さん個別相談を行いにくいと
感じています。

臨床での何気ない相談を行えるように、発達部会のアドレス?等を作成し、発達部会の
メンバーそれぞれが得意分野について答えるような仕組み作りというのはいかがでし
ょうか?

また、ケース相談で困るのは、アセスメントが不十分な場合だと思うので、対象障害毎の
目安となるアセスメント(教科書等に記載されている評価内容)を予め準備・提示してお
くことも重要ではないかと思います。

- ・他 ST の臨床場面をいつでもみれる環境が欲しい
- ・発達 ST ネットワークへの入り方がわからず、活用できません。
- ・先日、鹿児島地区メールにて会員全体に向けて、ある障害に対して訓練内容を教えて
欲しいという相談がありました。地区メールで情報交換できることはとても良いなと思
いました。そこで、何でも相談できる場として、発達ネットワーク内にて、ある程度
の経験年数ごとにグループを作り、グループ内での相談はもちろん、グループ毎に
リーダー的な立場の方を立てて、そのリーダーが他経験年数のリーダー同士と意見
交換をして相談した方へ情報提供できるシステムを構築できると横と縦の繋がり
ができやすいのではないかと思います。

・LINE 等の中でご相談いただけたら、お手伝いできることはしていきたいと思います。
LINE も大きくなってきて、大勢の中では発信しにくいので、中継ぎをしてくださる方がいらっしゃると、協力しやすいかもしれません。

・興味深い。そういった場がもっと増えることを願います。

・ライングループがあることはとても助かることだと思います。是非グループへ参加したいと考えます。

・勉強会や情報提供の場をインターネット等でできたら活用できるようにしていきたいです。

・発達部会とはなんですか？

・関わりがえられる方も少ないので、実際のどのよう働きかけをして、職場ではどのような働き方をされているのか知りたいです。

・情報共有として、リモートを活用してはどうか

・LINE グループに入っていない施設もあり、情報が途切れている事もあると思います。
マップや連絡先一覧があると施設間でも相談しやすいかなと思います。外部の心理士さんからも療育を行っている施設情報の問い合わせがありました。一眼で分かる物があると助かります。

20. 他、ご意見やご要望等ご自由に記載してください(7件の回答)

・独特な意見なので参考にはならないように思いますが…(笑)ご自由にとのことなので記載してみます。

私が新人の時は、小児分野に関してですが、STの先輩がいないことが普通だったように思います。その経験から言えることですが、頼りになるのは Dr.や多職種の先輩方や小児に興味をもってくれている同僚でした。仲間がいれば地域の勉強会などにも積極的に参加することができます(仲間と一緒に休みの日に参加することも苦になりませんし楽しかった記憶しかありません。)そうすることで更に人脈も増えます。同じ志を持つ仲間と出会えればその後はどうにかなるものです(笑)あとは、Dr.にガンガン質問すると、しっかり調べて資料や論文を取り寄せてくれたり教えてくれたりします(相談や質問する人を見極める目をもつ必要があります)

もしくは「小児みれます。がんばります。」と先に手を挙げてしまうこと。近くに ST を必要としている子どもさんが一人でもいれば、なんとしてでもやるべきだと思います。先に手をあげてしまったからには、普通の感覚の人なら必死で勉強します。書籍を読みあさってもいいし、自分からあちこち探して質問にも行くでしょうし、なりふり構ってられない状況を作ってしまう。

「やります」と手を挙げて一人ずつ受けていく。まずは目の前の一人の為に勉強して、次の1人の為にまた勉強してを繰り返していけば一度にたくさんの量を勉強する必要もないと思います。そうすれば対象児も結果的に増えていきます。

地域や業態によって必要とされる知識も分野も違うので、どこかに研修に行って勉強したことが的外れだったなんてこともあり得る話です。

環境を言い訳にせず、自分から切り開いていくことも大事だと思うのですが最初にこたわったように、かなり独特な考え方だと自覚しています。こんな意見もあるんだぐらいにとどめてもらえたらと思います。長文乱文失礼しました。

・小児の依頼が来る事が、過去にありましたが、現在は診断できるドクターが不在であり、厳しい状況です。

臨床経験のある ST が退職している為、情報共有の場があると嬉しいです。

・就学後のフォロー先に困っています。

・小児リハへの苦手意識がある方や経営的にも積極的にはできない面など色々と難しいこともあるかと思いますが、治す、治療するだけが小児リハではなく、家族も含めて関わることが大切であると実感できる機会があればいいですが。

・3年前に小児 ST を評価や訓練の際に得られた情報を、事業所や幼保、学校に伝える際の報告書の内容は詳しく書こうと思えば際限なく長くなってしまい、業務量がどんどん増えています。適切な報告書の書式など県士会でつくっていただけるとよいかも。

・LINEグループにて発信される情報にもう少し付加価値が欲しいです。発達部会のメンバーそれぞれに担当分野等を決めて、一定の期間で最新の情報(自分一人では勉強できないけど、それぞれが得意な分野を少しずつ)を発信して頂くような仕組みがあっても面白いのでは?と考えますがいかがでしょうか?

ご検討ください。

・宜しく願いいたします。

・いつもさまざまな企画および調整ありがとうございます!!他県でしか受けられないような有料の講習会があったら、嬉しいです!

有料にすることによって、本当にそのことに(領域や分野)興味がある方と出会えるのも、一つの方法かなと思います!!

・以前よりは発達 ST ネットワークという相談できる場が明確になっているのでとてもありがたいです。

・LINE での情報提供はすごく参考になっています!ありがとうございます。これからも続けて行って頂きたいです。